


山岳トイレ技術分野 事業化に向けたシナリオ案

	問題・課題の整理	技術分類と機種選定	フォローアップ調査のあり方	事業化の基本方針
拡大WG	トイレ設置・管理者(ユーザー)や実証申請者(費用負担者)ニーズの把握			
	<p>現状の問題・課題の確認</p> <p>実証事業への要望・期待の把握</p>	<p>技術分類案の意向把握</p> <p>機種選定の意向把握</p>	<p>フォローアップ調査の意向把握</p>	<p>有効活用とPR方法の検討</p>
第5回WG		<p>技術分類表の確定</p> <p>機種選定の考え方を確定</p>	<p>フォローアップ調査方法案の作成</p>	<p>有効活用とPR方法の検討</p> <p>実証方法および体制の効率化</p>
第1回シンポ	トイレ整備に携わる行政機関や民間等に十分情報が行き渡っていないため、本事業の効果と活用方法を広く、正しく伝える。			
	<p>「トラブル対策」</p> <p>現状でのトラブルを解説し、対応策を助言。</p>	<p>「技術分類と機種選定方法」</p> <p>設置条件、利用条件等にあった機種選定の考え方を提示。</p>	<p>「試験結果の解説」</p> <p>試験結果の読み方や活用方法を説明。</p>	<p>「事業推進体制の方向付け」</p> <p>効果的な実証方法や試験結果のPR体制を確認。</p>
	トラブル改善に向けた根本的対策と、適正な技術を普及するための方向性の確認			
	 <p>山岳トイレ技術分野の事業化と効果的なトイレ整備・維持管理方法の確立</p>			

山岳トイレし尿処理技術・拡大ワーキンググループ会合案

1. 開催目的

本事業が始まり5年を経て新たな段階に入る。これまで課題とされてきた、①山岳トイレの技術分類の確立、②実証試験方法の効率化、③コストや時間の節減、④技術や制度の普及・PR、⑤事業の継続方法などについて、明確な方向付けを行う必要がある。

そのため、出席者には、従来のワーキンググループ会合の検討員に加え、これまでの実証申請者、山小屋経営者等、今後の山岳トイレの改善におけるキーパーソンに出席を求め、方針を固め、来年2月に予定されているシンポジウムでの発表を前提として、今後の方向性を確認する場とする。

2. 開催概要

- (1) 日 時：平成19年11月19日(月) 13:30~16:00
- (2) 開催場所：新橋(ニュー新橋ビルB2 ニュー新ホール)
- (3) 出席者：WG検討員、18年度までの申請者、山小屋経営者等

3. 議題

〔討議1〕「山岳トイレ分類について」の検討

〔討議2〕「実証試験結果の有効活用とPR方法」の検討

〔討議3〕「事業化に向けた基本方針」の検討

- (1) 実証結果のフォローアップ体制のあり方
- (2) 各機関の役割分担の明確化と実証体制のスリム化